

議員提出議案第5号

少人数学級の実現を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり会議規則第14条の規定により提出します。

令和2年(2020年)9月24日

提出者 八王子市議会議員 望 月 翔 平

賛成者 八王子市議会議員 前 田 佳 子

同 吉 本 孝 良

同 安 藤 修 三

同 村 松 徹

同 相 澤 耕 太

同 鈴 木 勇 次

八王子市議会議長

浜 中 賢 司 殿

少人数学級の実現を求める意見書

新型コロナウイルスの影響を受けた学校一斉休業からの再開直後、分散登校が実施された。この中で教育現場からは子どもたちの様子がよく分かり、勉強も丁寧に教えられるなど少人数学級の実現を求める声が高まっている。子どもたちからも分散登校時には勉強がよく分かると好評で、不登校が減ったという報告もされており、少人数学級が子どもたちにとって豊かな教育につながっている。

感染症対策の観点からも教職員または児童生徒からも感染が確認されている中で少人数学級の実現は重要である。新型コロナウイルス感染症対策専門家会議は新しい生活様式として、人との間隔は出来るだけ2メートル（最低1メートル）の身体的距離を確保することを基本としている。

しかし日本の教室の基本は64平方メートルで、現行の40人学級では専門家会議で提唱している2メートル（最低1メートル）の身体的距離の確保は困難なことから、教室内において感染防止に必要とされる十分な間隔を保てない状況であり新しい生活様式とも大きく矛盾している。

かつてない経験をしている子どもたちに対してきめ細かい教育や心身のケアを行うためにも、感染症対策のためにも、1クラス30人程度を基本とした少人数学級を実施できるよう環境整備を行うことが重要である。

よって、八王子市議会は、国会及び政府に対して、密を避け、子どもたち一人ひとりに手厚く安心な教育環境を提供するために必要な教職員の加配と財政支援を行い、少人数学級を早期に実現するよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年(2020年)9月24日

議 長 名

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
文部科学大臣

} あて